

【技術の名称】 ダクタイトルフラスナー工法 ー外装PCa板のワンタッチフラスナー工法ー(改定2)	性能証明番号：GBRC 性能証明 第09-15号 改2 性能証明発効日：2022年6月13日 【取得者】 株式会社竹中工務店 技術研究所
---	--

【技術の概要】

本技術は、球状黒鉛鑄鉄（ダクタイト鑄鉄）製のフラスナー金物を介してPCa板を架設するPCa板フラスナー工法である。本工法で用いるフラスナー金物は、上吊方式の接合金物PCF-13と上吊り・下置き兼用方式の接合金物N-3、ならびにPCF-13またはN-3と組み合わせて用いる鉄骨梁等に固定する受け金物NF-3である。また、高耐力PCa板用として上吊り方式のPCF-20とNF-20を組み合わせる形式もある。本工法では、PCF-13、20またはN-3の一部をPCa板内に埋め込んだフラスナー埋め込み部は、周囲を適切に補強することで、設計の要求強度を確保することにしている。ここで、フラスナー金物と主要構造体との取り付け部およびPCa板側のフラスナー埋め込み部を含めた部分を、PCa板フラスナー部と呼ぶ。

なお、上吊り方式ではフラスナー金物を介してPCa板上部を吊り上げ、下置き方式ではフラスナー金物を介してPCa板下部を支持し、上吊り・下置き兼用方式は受け金物を配置する位置によって、上吊り方式、下置き方式のいずれにも適用できる。

また、PCF13を用いる上吊り方式に限定して、PCa板に鋼繊維補強コンクリートを使用し、軽量化を図ることができる。

【改定の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第09-15号（2009年11月10日）
改定1：GBRC 性能証明 第09-15号 改1（2019年1月17日）
・ダクタイトルフラスナー金物（PCF-20、NF-20）の追加
改定2：GBRC 性能証明 第09-15号 改2（2022年6月13日）
・鋼繊維補強コンクリートの追加

【技術開発の趣旨】

本技術は、地震荷重時あるいは風荷重時に要求されるPCa板フラスナー部の強度および層間変形追随性を確保するとともに、PCa板架設時の施工性向上などを意図して開発したものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。
申込者が提案する「ダクタイトルフラスナー工法 PCa板フラスナー部の設計・施工指針」および「ダクタイトルフラスナー工法 ダクタイトルフラスナー金物の製造管理指針」に従って設計・施工・製造管理されたフラスナー金物およびフラスナー埋め込み部は、それぞれ長期荷重時に使用上支障となる損傷、短期荷重時に修復性を損なう損傷を起さず、同設計・施工指針で定める終局耐力を有する。

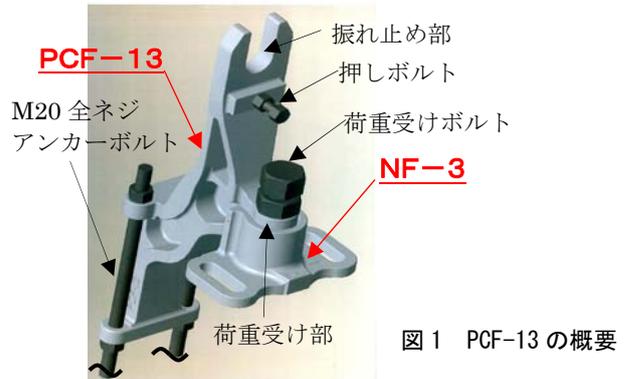


図1 PCF-13の概要

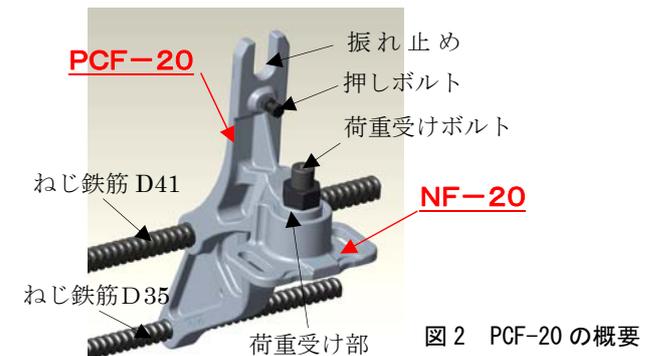


図2 PCF-20の概要

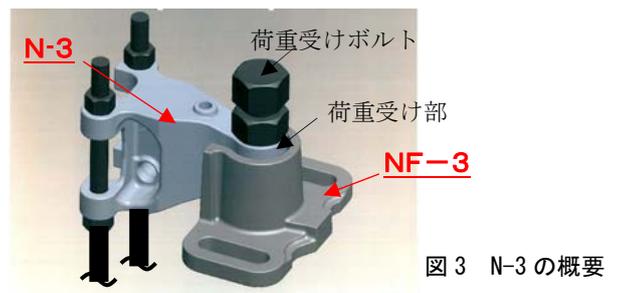


図3 N-3の概要

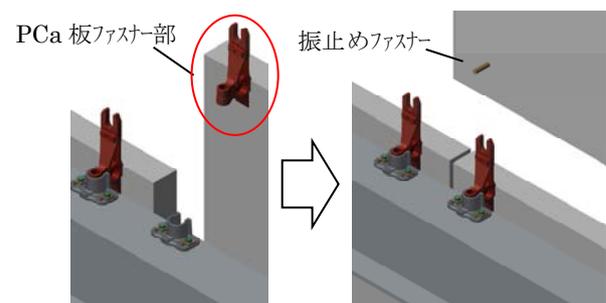


図4 PCa板の取り付けイメージ（上吊り）

【本技術の問合せ先】

株式会社 竹中工務店 東京本店 設計部 担当者：小林 楓子
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1

E-mail：kobayashi.fuuko@takenaka.co.jp
TEL：080-9930-7233 FAX：03-6660-6220